

## 「教育センターの複合化」の検討状況について

「みんなで描こう より良いかたち 町田市公共施設再編計画」（2018年6月策定）に基づき、「公共施設・公共空間のより良いかたち」の実現を目指して、公共施設の再編を進めています。

「町田市町田駅周辺公共施設再編構想 – 民間とのコラボレーションによる5つの再編プロジェクト –」（2022年3月策定）について、構想策定後に町田市を取り巻く環境の変化が生じました。

こうした新たな要素が加わったことから、「プロジェクト C 教育センター複合化」について、改めて複合化する機能やコンセプトを見直しながら、今年度の整備基本計画策定を目指して検討を進めています。

### 1. 再編構想策定後の環境変化とその後の検討状況について

構想策定と同月の2022年3月に「児童福祉法等の一部を改正する法律（以下「改正法」。）<sup>※1</sup>が閣議決定され、市町村における「こども家庭センター」<sup>※2</sup>の設置が努力義務化されることになりました。町田市としても、「子育て支援機能」と「母子保健機能」を一体化する方向で検討を進めております。

この間、「子育て支援機能」と「母子保健機能」の一体化に向けた適切な配置について、関係各部とともに、意見交換会や個別ヒアリングなどを通じて、検討を重ねた結果、この2つの機能を教育センター複合施設に配置する方向で整理しました。

このことに伴い、教育センター複合施設は、子どもの発達と教育上の課題への総合的支援にとどまらず、子ども・子育て支援を切れ目なく受け取ることができる拠点へと機能拡充が図れると考えています。

あわせて、改正法において、「こども家庭センター」との協働が示されており、かつ、町田市への誘致を目指している「児童相談所」についても、市内における設置候補地として教育センター複合施設を抽出しました。

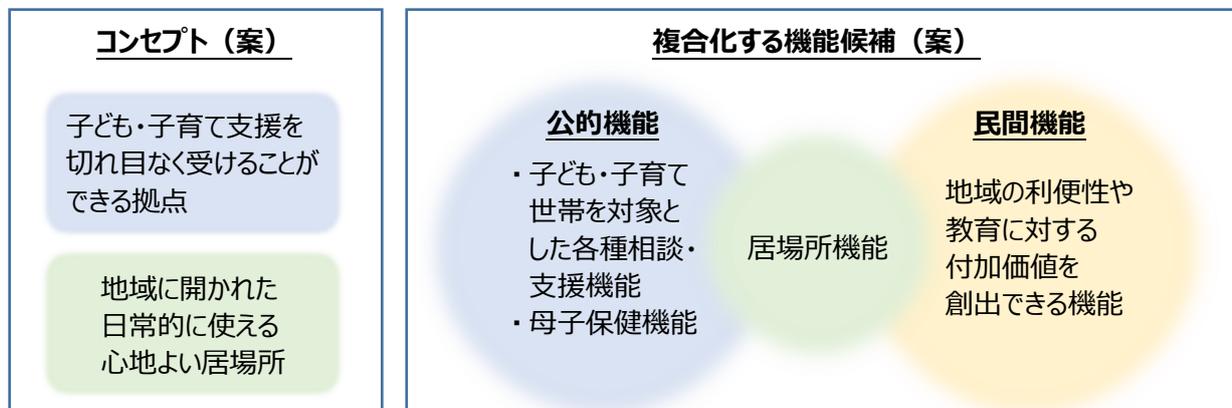
なお、これまで複合化する機能としていた「わくわくプラザ町田（シルバー人材センター、老人クラブ連合会の各事務局）」については、複合化を見送る方向で整理しました。

※1 児童虐待の相談対応件数の増加など、子育てに困難を抱える世帯がこれまで以上に顕在化してきている状況等を踏まえ、子育て世帯に対する包括的な支援のための体制強化等を行うことを趣旨とする法律（2022年6月成立、2024年4月1日施行）。

※2 現在の子ども家庭総合支援拠点（児童福祉）と子育て世代包括支援センター（母子保健）の設立の意義や機能は維持した上で組織を見直し、全ての妊産婦、子育て世帯、子どもへ一体的に相談支援を行う機能を有する機関。

### 2. 教育センター複合施設整備基本計画に盛り込む主な内容（案）

整備にあたっての基本的な考え方、コンセプト、複合化する機能、新施設の利用イメージ、事業手法の検討結果などをとりまとめて掲載します。



### 3. 今後の予定

2022年 12月頃 教育センター複合施設整備基本計画案 市民意見募集  
2023年 3月 教育センター複合施設整備基本計画策定